

■コメント

1. 咽頭結膜熱

定点当たり1.08人と、前週の約2.3倍に増加しており注意が必要です。

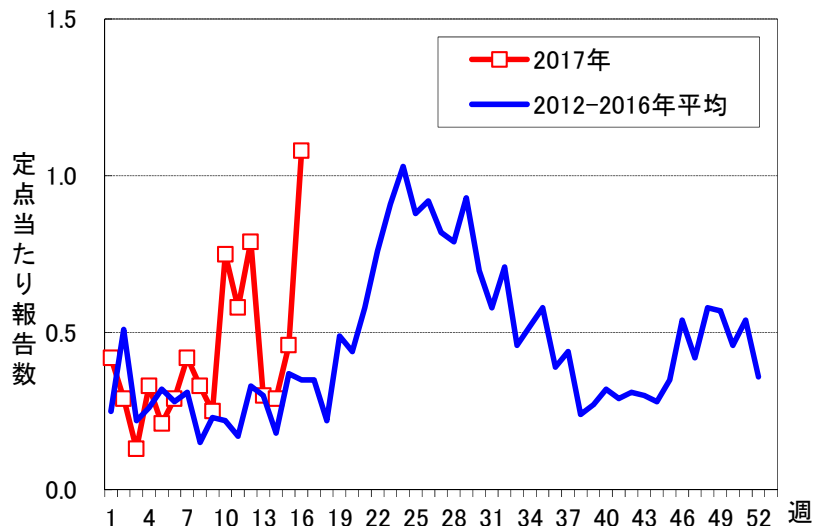
咽頭結膜熱は、アデノウイルスによるウイルス性の疾患で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、咽頭炎によるのどの痛み、結膜炎などの症状が現れます。

手洗い・うがいを励行し、感染予防を心がけましょう。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.75人と、前週の約1.7倍に増加し、例年同時期に比べて報告数が多くなっています。(次頁参照)

咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間 (注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間 (注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	60	1.62	2.41	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.55	
小児科	咽頭結膜熱	26	1.08	0.35	↑		RSウイルス感染症	5	0.21	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	90	3.75	1.87	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	137	5.71	10.13	⇒		流行性角結膜炎	12	1.50	0.58	
	水痘	7	0.29	0.68		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	72	3.00	0.21	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.26			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	14	0.58	0.55			クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	0.14		
		ヘルパンギーナ	9	0.38	0.08						

急増減

↑

↓

前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減

⇒

⇨

前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減

⇐

⇩

前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい

⇒

ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均
(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	45	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外、女性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	9	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	女性(70歳代)
5	梅毒	1	13	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス 感染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタ ウイルス)
報告数	広島市	第12週 172	19	62	98	11	13	-	6	-	3	4	1	-	5	-	-	-	-	3
		第13週 127	7	51	101	8	13	1	4	-	-	2	6	-	4	-	-	1	-	-
		第14週 91	7	46	102	5	20	1	12	-	5	1	5	-	9	-	-	-	-	2
		第15週 59	11	54	137	5	64	1	11	-	2	2	4	-	7	-	-	2	-	2
		第16週 60	26	90	137	7	72	1	14	-	9	2	5	-	12	-	-	-	-	1
定点 当 たり	広島市	第12週 4.65	0.79	2.58	4.08	0.46	0.54	-	0.25	-	0.13	0.17	0.04	-	0.63	-	-	-	-	0.43
		第13週 3.53	0.30	2.22	4.39	0.35	0.57	0.04	0.17	-	-	0.09	0.26	-	0.50	-	-	0.14	-	-
		第14週 2.46	0.29	1.92	4.25	0.21	0.83	0.04	0.50	-	0.21	0.04	0.21	-	1.13	-	-	-	-	0.29
		第15週 1.59	0.46	2.25	5.71	0.21	2.67	0.04	0.46	-	0.08	0.08	0.17	-	0.88	-	-	0.29	-	0.29
		第16週 1.62	1.08	3.75	5.71	0.29	3.00	0.04	0.58	-	0.38	0.08	0.21	-	1.50	-	-	-	-	0.14
	全国	第14週 5.06	0.31	1.92	5.63	0.35	0.13	0.08	0.47	0.01	0.04	0.57	0.20	0.02	0.55	0.02	0.03	0.19	0.01	0.77
		第15週 3.98	0.32	2.20	6.02	0.32	0.26	0.07	0.47	0.01	0.04	0.58	0.26	0.01	0.53	0.01	0.03	0.18	0.02	0.79

■新たに判明した病原体検出状況

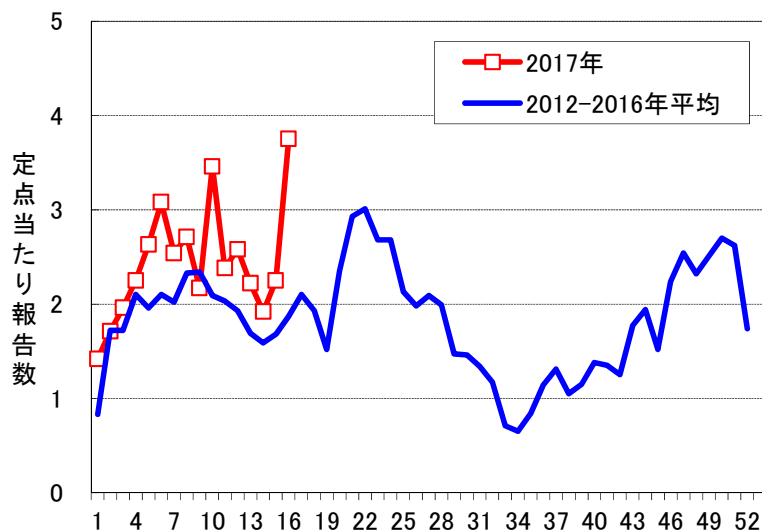
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(37.2) 紅斑 歯肉炎	3	男	2017/03/10	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス
感染性胃腸炎	発熱(39.0) 嘔気 下痢	6	男	2017/03/12	糞便	A群ロタウイルス
百日咳	レプリーゼ(※)	0	男	2017/03/04	咽頭拭い液	百日咳菌 ライノウイルス

(※) 発作性けいれん性の咳嗽発作(短い咳が連続的に起こり、続いて、息を吸うときに笛のような音が出る)を繰り返すこと

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる疾患です。この菌は咽頭炎だけでなく、膿痂疹(のうかしん:うみを伴ったできもの)、猩紅熱(しょうこうねつ)、中耳炎、肺炎、関節炎、髄膜炎などいろいろな病気を起こします。

潜伏期間は2~5日で、突然の発熱と全身倦怠感、喉の痛みによって発症し、嘔吐を伴うことがあります。また、舌に「いちご舌」といってイチゴのような赤いつぶつぶができることがあります。

一般に幼児、学童を中心として流行します。年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなります。

この疾患は、患者との接触によって感染しますので、患者との濃厚な接触を避けることが最も重要です。日常のうがい・手洗いの励行など一般的な予防法も有効です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第16週(4月17日~4月23日)